

## 第 29 回関西広域連合委員会の概要

平成 25 年 2 月 9 日  
関西広域連合本部

○日 時：平成 25 年 1 月 24 日（木） 15:00～16:00

○場 所：大阪府立国際会議場 10F 1001-2 会議室

○出席者：井戸連合長、仁坂副連合長、嘉田委員、山田委員、松井委員、平井委員、飯泉委員、  
門川委員、竹山委員、久元副委員

## ○議事概要

## 1 協議事項

## ① 新政権への対応について

- ・地方分権改革の原点に立ち返り、国出先機関をはじめとする国の事務・権限の移譲を引き続き求めていくことを確認した。
- ・関西広域連合がそのまま道州制に移行するものではないことを前提に、政府が一方的に道州制の導入を進めないよう、課題や問題点をチェックし、適宜発信していくため、有識者による研究会を 2 月目途に発足させ、広域行政システムについて内部的に検討・研究を行うこととした。

## ② 平成25年度関西広域連合の組織体制の強化について

- ・関西イノベーション国際戦略総合特区やエネルギー検討会など特定課題への取組強化として、事務局強化を行うことを確認した。
- ・平成25年度からの資格試験・免許等業務の実施に向け、本部事務局体制の強化を図ることを確認した。
- ・議会運営の本格化に伴う体制強化を図るため、調査課長を専任配置することを確認した。

## ③ 平成25年度当初予算・平成24年度補正予算・条例改正等について

- ・広域連合議会 3 月定例会に提出予定の平成25年度当初予算案、平成24年度補正予算案、条例改正案について確認した。
- ・議員報酬については、理事者提案となる予算に対し、条例改正については議員提案であるべきではないかとの意見があり、議会側と調整することとした。

## ④ 国への提案

- ・平成25年度国の予算編成等に対する提案について、改めて政府に対し提出することを決定した。

## 2 報告事項

## ① 東南アジアプロモーション

- ・山田委員より 2 月に山田委員及び秋山広域連合協議会会長等が、シンガポール、マレーシアで観光プロモーションを実施する予定との報告があった。

## ② 薬物濫用防止対策の取組み

- ・飯泉委員より薬物濫用防止対策として、構成団体間の連絡体制の強化、「指定薬物標準品」に関する情報の共有化など取組状況の報告があった。
- ・今後、関西広域連合での検査体制の確立も含め、広域医療局を中心に検討することとなった。

## ③ 今冬の電力需給状況等

- ・嘉田委員より今冬の節電期間の電力需給状況について、関西広域連合が今冬の節電の目安として、いる平成 22 年度比約 6 %が概ね達成しているとの報告があった。

## ④ 関西ブランドの検討

- ・本部事務局より関西（KANSAI）ブランド確立に向け、「はなやか関西」など既存の取組を活かし連動する方向で、観光、産業等各分野事務局と共に検討を進めるとの報告があった。

## ⑤ 広域連合議会 3 月定例会等

- ・本部事務局より 3 月定例会の開催案について報告があった。